

ちくのう

副鼻腔炎の話

ふくおか耳鼻咽喉科

〒477-0032 愛知県東海市加木屋町2-224-2

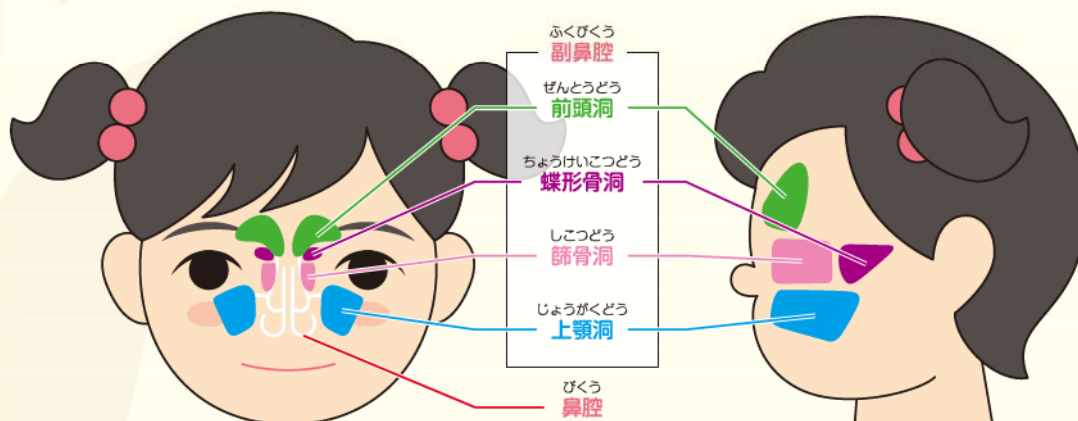
TEL (0562) 38-2800



副鼻腔炎のお話

副鼻腔とは、どこにあるのですか？

鼻、おでこ、ほっぺの奥にある空洞です。



副鼻腔炎とは何ですか？どうしてなるのですか？

細菌やウイルスの感染(鼻カゼ)からおきます。鼻カゼが悪化し副鼻腔に炎症が起こり鼻水、膿が溜る病気で、俗に言う「ちくのう」です。

※早めの治療が予防になります。

お子さんの場合は、副鼻腔が十分な発育をしていなかったり、アデノイドが大きいため副鼻腔炎になりやすく繰り返しやすいです。

アレルギー性鼻炎も関係しているとされ、ちくのうになりやすかったり、ちくのうになっても治りにくいとされています。

他に虫歯やカビ(真菌)から起きることもあります。

症状は？

黄色の粘調な鼻水・後鼻漏・鼻づまり、頭痛、嗅覚異常、頬の痛み、鼻が臭う、鼻血、せき(10日以上続く)、痰、口臭、いびき・睡眠障害の原因になることがあります。

※なかなか治らない頭痛・せき・口臭は、ちくのうのことがあります。

鼻づまり・睡眠障害は、注意力散漫、思考力・記憶力の低下、学業成績の低下につながる場合があります。



副鼻腔炎にはいろんな種類があるのですか？

炎症の続く長さによって分かります。

- 急性：カゼをひいてから急に起きる場合。
- 慢性：急性が治りきらなくて3ヶ月以上たった場合。

副鼻腔炎の検査は？

● 鼻のレントゲン写真やファイバーです。(副鼻腔炎の治癒の判定にも行ないます。)

※総合病院ではCTを行なうこともあります。

副鼻腔炎の治療は？

まずはお薬です。

- 抗生剤・消炎剤の内服、点鼻薬です。
- アレルギー性鼻炎がある場合、抗アレルギー剤も併用します。

慢性の場合や急性が治りきらない場合は

- 引き続き抗生剤クラリスを少ない量で1～3ヶ月間(治るまで)飲みます。

※抗生物質を長い間飲むので抵抗があるかもしれませんが1回に飲む量は少なくしてあります。

病院で鼻水を吸引しネブライザーをすることです。

どれくらいで治るのですか？

炎症の程度によって変わってきます。

- 急性なら1～2週間で治ります。
- 慢性なら2～6ヶ月間かかることが多いです。

※適時、レントゲン撮影で治ったかを判定します。

経過

- 小学生以下のお子さんの場合は、まずお薬で治ります。
手術をすることはありません。
- 大人の場合は、3～6ヶ月間お薬の治療をしても完治しなければ手術になります。
- 鼻茸が多くてお薬での治療が難しそうな場合は、初めから手術をおすすめします。

※手術の場合は総合病院へ紹介させていただきます。

治りにくい場合は？

- ちくのうがひどい場合、鼻茸がある場合。
- アレルギー性鼻炎がひどい場合、喘息の既往がある場合。
※一度治っても、ちくのうを繰り返すことも多いです。
- 虫歯から、ちくのうになっている場合。
※同時に虫歯の治療をしないと治りにくいです。
- 真菌から、ちくのうになっている場合。
※お薬が効きにくいです。
- 嗅覚異常は、他の症状に比べて改善しにくいです。
※特に発症してから3ヶ月以上経っている場合は完全には治りにくいです。

よくある質問

鼻が悪いと中耳炎になりやすいのですか？

そのとおりです。鼻・ノドについた菌やウイルスが耳管（鼻と耳のとおり道）を通過して中耳に入ると中耳炎がおきます。

お子さんの場合、鼻水が出ていたら中耳炎は要注意です。



副鼻腔炎の時、日常生活の注意は何ですか？

- かぜをひかないようにすること。かぜをひくと、また繰り返すことがあります。
- かぜをひいてしまったなら、こまめに鼻をかむこと。
鼻をかむときは片方ずつ、ゆっくり、やさしく。
強くかむと中耳炎になることがあります。
- 鼻症状があった場合に、早期に治療すること。
- 完全に治るまで治療を続けること。自己判断で治療を止めないこと。

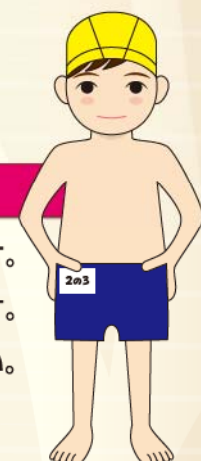
※完全に治らない状態で治療を止めると、ちくのうを繰り返すことがあります。



副鼻腔炎の時、プールに入っていていいですか？

- 膿のような黄色い鼻水が出ていればやめてください。プールの消毒液が、鼻やノドの粘膜を傷めるためです。
- アレルギー性鼻炎を合併している場合は、プールの中の微粒のゴミでアレルギー反応を起こすためです。
- プールの水が鼻に入らないように注意して、誤って水が入ったらその都度鼻をかむようにしてください。
- スイミングの前後でしっかり鼻をかむようにしてください。

※通学、通園には影響はありません。



副鼻腔炎は遺伝しますか？

- 急性の副鼻腔炎は遺伝することはありません。
- 重症の慢性副鼻腔炎に関しては遺伝が関係しているとされています。



抗生剤を長い間、飲んでも大丈夫でしょうか？

通常の抗生剤の服用は5～10日間ぐらいです。しかし、ちくのうのある場合は特殊で長い間お薬を飲まないとなかなか治りません。1～3ヶ月間（治るまで）飲みます。

まず、よく効く抗生剤を5～7日間飲みます。そして症状が落ち着いたら、軽めの抗生剤を通常の半分の量にして長い間飲む治療になります。量が少ないので副作用も少ないです。



★ 症状が急に変わることもあります。疑問な点や困った事がありましたら、なるべく早目におたずねください。

おだいじになさってください。

